

この度の町長選挙において、多くの町民の皆さまのご支援を賜り、10月14日に第18代菊陽町長に就任しました。

歴史ある菊陽町の町政運営を担わせていただくことに重責を感じ、身の引き締まる思いでございます。町民の皆さまの期待に応え、町のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

『心を満たし、菊陽町を楽しむ』

私は、菊陽町にお住まいの皆様が『心を満たし、人生を楽しむ』ため、菊陽町の魅力を高めることを目指します。

「心を満たす」とは、人が、人と人との豊かな関係を築いて、身体的・精神的・社会的に満足して暮らしていくことだと考えています。このように暮らせるまちをつくり、私自身が皆様の「心を満たす」存在でありたいと願っています。

私たちが生きる現代は、常に変化しています。その中で菊陽町にお住まいの皆さまが、人生をどのように送りたいと思われているのかを常に考え、皆様に寄り添いながら、共に進んでまいります。

人々が感動を分かち合い、満足のいく未来となるよう、「対話」を通してその実現を目指します。

町長となったこれからは、日々判断、決断、実行の連続となるでしょう。だからといって、それを恐れたり、迷ったりはしません。大事なことは「決める」ことなのです。

私は、選挙戦を通じて訴え続けた「政策提言集」の実現を進めてまいります。これは、菊陽町のこれからを考えて、皆様の声を政策にまとめたものです。

その中心となる8つの政策分野と、その中でも重点的に取り組む内容を、表にまとめました。

その他の政策は、QRコードからご一読いただくと幸いです。



菊陽町は、国策として誘致されたTSMCの進出に伴い、さまざまな可能性を持ち、日本一のまちづくりを目指すことができる町になりました。

潜在能力の高いこの町を、お住まいの皆様が自慢できる「日本一の菊陽」にすることが私の夢です。

一方で、菊陽町の一番の課題である渋滞の問題は、町でできることを着実にを行うと共に、国、県への協力

要請にも力を注ぎます。道路整備だけに留まらず、「パークアンドライド」などの渋滞解消のあらゆる方策を引き出し、それに取り組めます。

また、菊陽町ににぎわいをもたらすために、さまざまなイベントを開催し、住民の繋がりを生みだしたいと考えています。



町民に迎えられた初登庁日

吉本孝寿町長就任

プロフィール

1967年3月生(55歳)。九州東海大学工学部卒。
趣味はゴルフとスポーツ観戦。

8つの政策分野

1 未来への投資

子育て世代の負担軽減を目的として、ふるさと納税を活用した給食費の無償化、副食費の無償化、使用済み紙おむつの持ち帰り廃止をします。

2 潜在能力への投資

菊陽町の潜在能力を引き出すことを目的として台湾の都市との姉妹都市盟約を締結し、教育、文化、経済、スポーツ、青少年交流を行います。

3 生活・喜びへの投資

高齢者の要望に応えるために、使いやすい乗り合いタクシーの充実を図ると共に、使い勝手の良いコミュニティバスの運行を目指します。

4 スポーツと文化への投資

町民が楽しめる総合運動公園の整備や小中学校グラウンドのナイターの整備をします。また、生きがいづくりや生涯学習の場を提供します。

5 教育への投資

国際社会で活躍できるように英語教育の強化を進め、さらには障がいのある子どもに対する校内支援の強化に取り組めます。

6 安全への投資

道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れているなどの身の回りで困ったことを見つけたときに、スマホのアプリを通じて役場に連絡することで合理的、効率的に問題を解決します。

7 地域への投資

全ての公民館、集会所へソーラーパネルや蓄電池を整備します。
また、24時間体制で対応できる津久礼交番の配備を目指します。

8 町民サービス向上への投資

わくわく座談会を実施し、少数意見を聞き、地域の方と繋がりを持つことで、協働のまちづくりに繋がります。